

平成 24 年度 事業報告書

平成 24 年 4 月 1 日から 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人女性技術士の会

1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動では、女性技術者のキャリアに関する座談会の実施（協力）、教育機関の要請に応じ職域紹介に関する講座の実施（講師派遣の協力）、各種イベントへ参画しパネル展示を実施する等各種の活動を展開した。サイエンスアゴラではNPOとして単独でブースを設け、一般向けにエコゲームを実践した。

国際会議における交流事業では、国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部（INWES-Japan）の運営に参画している。平成23年度アデレードで開催されたICWES15において、本法人が主催したワークショップを引き続きICWES16にて実施するための準備段階に入った。日韓女性技術士との交流会も継続している。

なお、仕事と生活の調和を目指した社会基盤整備啓発事業としてシリーズ化した「まちづくりに関するシンポジウム」は、平成24年度はサイエンスアゴラに踏襲した。平成23年度シンポジウムの成果であるリーフレットは、引き続きイベントなど機会あるごとに配布、ホームページでも公開している。

高専機構主催の行事・「2012年度 高専女子フォーラム」の後援、他団体との協働も定着し、中には資金確保に結びつく事業もあった。東日本大震災被災地域の学生を対象にした支援事業も継続した。また、会の活動をより一層全国的に展開出来るよう、首都圏以外の会員の参画体制を整えた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
科学技術発展のための普及啓発事業	技術サロン(日本技術士会)への協力。JABEE課程及び理工系の女子学生と女性技術士の交流の場を設け、技術士資格や技術者キャリア形成に関して活発な意見交換を実施した。	6月16日 9月15日 12月15日 3月16日	(公社) 日本技術士会会議室他	10	JABEE 課程及び理工系の女子学生、技術系社会人等約40名	27
	関連団体が実施する催事でポスター展示により、技術サロン協力活動の紹介を行った。	1月26日	東京都	2	修習技術者等約300名	0
	東日本大震災復興支援事業の一環として理工系女子学生を応援するため、技術サロンへ女子学生を招待した。	6月16日 9月15日 12月15日 3月16日	(公社) 日本技術士会会議室他	1	東北地方在住学生7名	140
	「おもしろまちづくり」のシンポジウムは形態を変え、サイエンスアゴラの会場で「エコな暮らし」をテーマに体験型展示を行い、親子で参加する「エコすごろく」を実施、家庭におけるエコへの理解を深めた。	11月10日～ 11日	日本科学未来館	10	一般市民約550名	51

女性の職域に関する啓発事業	理科系大学等でのキャリア形成、職域紹介等の講演(山梨大学)－女性技術者に実際会い、話す機会は学生にとって刺激になっている。	4月7日	該当大学等	6	理科系女子学生他約150名	0
	「女子中高生夏の学校2012」において理系の職業紹介等のパネル展示を行った。	8月10日	独立行政法人国立女性教育会館(埼玉)	8	女子中高生及び保護者約150名	9
	個人の活動記録をファイルしたポートフォリオの原稿の募集を継続した。	年間	会員の事務所	5	理科系女子学生及び一般500名	0
国際会議における交流事業	国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部(INWES-J)へ会員を派遣し運営に参画した。	年間	INWES-J事務所他	委員4	海外含む女性技術者不特定多数	0
	日韓女性技術士交流会において、日本側は「エネルギー供給と再生可能エネルギー導入時の課題」と題した講演を行った。後半は盆点前によるミニお茶会を催行し、相互理解を深めた。	10月17日	名古屋市	15	日韓女性技術士21名	70
その他目的を達成するための必要な事業	ホームページ更新により法人活動の普及啓発のための情報を発信、充実に努め	随時	法人事務所他	3	不特定多数	20
	法人活動の定期的な広報を目的として「ニュースレター」を発行した。	4、8、10、1月末発行	法人事務所他	6	不特定多数	0
	土壌分解能力調査	2012年11月30日～2013年2月28日	会員自宅他	25	不特定多数	0
	座談会	1月24日	都内	4	不特定多数	0

24年度 活動計算書

平成24年 4月 1日から 平成25年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	219,000	
協力会員受取会費	18,000	
賛助会員受取会費	68,000	
2 受取寄附金		
受取寄附金（福島学生支援として）	140,000	
受取寄附金（指定なし）	9,000	
3 受取助成金等		
受取補助金	0	
4 事業収益		
(1)女性の職域に関する啓発事業 ポートフォリオ売上	5,800	
(2)その他目的を達成するために必要な事業 技術セミナー（謝金）	100,000	
土壌分解能調査受託	100,000	
5 その他収益		
受取利息	127	
技術サロン費用立替え返戻金	24,900	
経常収益計		684,827
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
(1)科学技術発展のための普及啓発事業 技術サロン		
交通費（福島学生支援 招待費用）	140,000	
会議費	105	
印刷製本費	22,500	
通信運搬費	4,190	
アゴラ		
交通費	3,000	
会場費	3,300	
印刷製本費	9,200	
通信運搬費	5,600	
消耗品費	26,008	
交際費（お弁当代）	4,350	
(2)女性の職域に関する啓発事業 女子中高生夏の学校		
交通費	6,710	
通信運搬費	1,860	
通信運搬費（ポートフォリオの送付）	560	
(3)国際会議における交流事業 日韓女性技術士交流会		
交通費	28,000	
会議費	31,535	
通信運搬費	1,020	
交際費（お土産代）	8,820	
手数料（銀行振込）	210	
(4)その他目的を達成するために必要な事業 通信運搬費（ホームページ維持費）	19,520	
その他経費計	316,488	
事業費計		316,488

2	管理費			
	(1)人件費			
	人件費計	0		
	(2)その他経費			
	会場費（理事会）	27,950		
	会議費	4,000		
	印刷製本費	960		
	通信運搬費	8,300		
	総会費用	11,600		
	手数料（印紙、銀行振込等）	2,125		
	雑費（退任理事プレゼント）	2,520		
	その他経費計	57,455		
	管理費計		57,455	
	経常費用計			373,943
	当期経常増減額			310,884
III	経常外収益			
	経常外収益計		0	
IV	経常外費用			
	経常外費用計		0	
	税引前当期正味財産増減額			310,884
	法人税、住民税及び事業税			0
	当期正味財産増減額			310,884
	前期繰越正味財産額			727,604
	次期繰越正味財産額			1,038,488

*平成24年度から 書式の名称が「活動計算書」と変更になりました。